

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2006-167187(P2006-167187A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-364468(P2004-364468)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 6 T 5/20 (2006.01)

H 0 4 N 1/409 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 M

A 6 1 B 6/03 3 6 0 B

G 0 6 T 5/20 B

H 0 4 N 1/40 1 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月21日(2007.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医用画像の画素毎に、該画素を含むフィルタ領域を設定するフィルタ設定手段と、
前記フィルタ領域の画素の濃度平均値を算出する濃度平均値算出手段と、
前記フィルタ領域の中心に位置する前記画素の濃度値と前記濃度平均値との差分値を算
出する差分演算手段と、

前記差分値と前記医用画像とから強調画像を生成する画像処理手段と、

前記強調画像を表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする医用画像表示装置。

【請求項2】

前記フィルタ領域は、矩形状または直線状であって、

前記フィルタ設定手段は、前記医用画像の濃度変化に基づいて前記フィルタ領域の方向
を調整する、

ことを特徴とする請求項1に記載の医用画像表示装置。

【請求項3】

前記表示手段は、前記医用画像に前記フィルタ領域を重ねて表示する、

ことを特徴とする請求項1又は2に記載の医用画像表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

前記目的を達成するために、本発明に係る医用画像表示装置は、医用画像の画素毎に、

該画素を含むフィルタ領域を設定するフィルタ設定手段と、前記フィルタ領域の画素の濃度平均値を算出する濃度平均値算出手段と、前記フィルタ領域の中心に位置する前記画素の濃度値と前記濃度平均値との差分値を算出する差分演算手段と、前記差分値と前記医用画像とから強調画像を生成する画像処理手段と、前記強調画像を表示する表示手段と、を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、前記フィルタ領域は、矩形状または直線状であって、前記フィルタ設定手段は、前記医用画像の濃度変化に基づいて前記フィルタ領域の方向を調整する。前記決定された方向と前記フィルタ領域の矩形の長辺又は直線の傾きとが平行になるように前記フィルタ領域は調整されてもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、前記医用画像は、被検体の肋骨を含んで撮影し、前記フィルタ設定手段は、前記フィルタ領域の大きさを前記医用画像に写った肋骨領域の特徴量の関数として決定してもよい。